

第 4 回 行財政改革懇談会 会議録

1. 開催日時 令和 2 年 11 月 19 日（木）午後 4 時 00 分～午後 4 時 50 分
2. 開催場所 政策会議室
※石原会長以外の委員はWEB会議システムにて参加
3. 出席者 委員 9 名《石原会長、入江副会長、市川委員、岩城委員、
江坂委員、川本委員、西郷委員、塩瀬委員、高津委員》
豊橋市 5 名《金田副市長、稲田総務部長、黒釜財務部長、
前田行政課長、戸苺行政課長補佐》
4. 欠席者 酒井委員
5. 傍聴者 1 名
6. 会議概要 以下のとおり

R2. 11.19 午後 4 時 00 分より

発言者	要 旨
事務局 (行政課課長補佐)	<p>本日はお忙しい中、懇談会にご参加いただきありがとうございます。ただ今より第 4 回行財政改革懇談会を開催します。なお、本日は酒井委員から欠席のご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、石原会長に進行をお願いしたいと思います。よろしく申し上げます。</p>
石原会長	<p>ただいまから、第 4 回豊橋市行財政改革懇談会を開催します。本日は、豊橋市における行財政改革への意見書の提出を行います。確認のため意見書を事務局から読み上げていただきたいと思います。</p> <p>事務局申し上げます。</p>
事務局 (行政課課長補佐)	<p>《豊橋市における行財政改革への意見書》 について読み上げ</p>
石原会長	<p>意見書には過去 3 回の懇談会で出た委員の意見を反映させています。例えば、広報広聴の面では、市側から市民に対して一方通行にならないようにすること、機構改革の面ではスクラップアンドビルドの原則と平仄をあわせるべきと言った記述が入っています。</p> <p>委員の皆様にご意見書案について概ねご了解をいただいているところですが、提出に先立ちましてご意見ご質問等ございませんでしょうか。</p>

発言者	要 旨
委員	《意見なし》
石原会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それではこれより豊橋市へ懇談会としての意見を提出します。提出にあたり進行を一旦事務局へお返します。</p>
事務局 (行政課課長補佐)	<p>ただいまから懇談会から豊橋市へ意見書の提出となります。市側の代表として副市長が受領いたします。</p> <p>早速ではございますが、提出にあたり会長に一言いただきたくと思います。</p>
石原会長	<p>意見書は、時代を先取りする内容となっています。それをコンパクトにまとめることができましたのは、ひとえに委員の皆様方のお力添えによるものだと思っています。この場をお借りし、あらためて御礼を申し上げます。</p> <p>さて、この意見書は、行財政改革懇談会として議論を重ね委員の忌憚のない意見を反映させたものです。今後豊橋市が新たな行財政改革プランを策定する際には、懇談会の意見を織り込んでいただきますようお願いしたいと思います。</p>
	《意見書提出》
事務局 (行政課課長補佐)	<p>ありがとうございました。それでは席にお戻りください。それでは、副市長よりお礼を申し上げます。</p>
金田副市長	<p>本年7月に行財政改革懇談会委員に就任されて以来、大変熱心に豊橋市の行財政について議論をいただき誠にありがとうございます。</p> <p>意見書の内容をしっかりと拝見させていただき、今後策定する新たな行財政改革プランに反映をさせていきたいと考えております。本市を取り巻く厳しい外部環境の中でも持続可能な行財政運営をしっかりと行えるように改革を進めていきたいと思っています。</p> <p>あらためてお礼を申し上げます。本当にありがとうございました。</p>

発言者	要 旨
事務局 (行政課課長補佐)	<p>大変申し訳ございませんが、副市長は公務のため、これにて退席させていただきます。ここから議事に戻りまして行財政改革プランの案について説明させていただきます。</p> <p>再度石原会長に司会をお願いしたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>
石原会長	<p>それでは、議事に戻りまして現在策定の行財政改革プランの案について事務局より説明をいただきたいと思えます。</p>
事務局 (行政課長)	<p>《新たな行財政改革プラン（案）について説明》</p>
石原会長	<p>説明に対して質問や意見のある方はお願いします。</p>
委員	<p>意見書の中で「豊橋らしさ」という議論がありました。最近市長選挙があり、市長が変わりましたが、新しい市長の意も汲みつつ、プランの中で「豊橋らしさ」を具体的に記述していただければと思います。</p>
石原会長	<p>ありがとうございました。</p> <p>他にご意見ありますでしょうか。</p>
委員	<p>3点お伺いします。</p> <p>1点目ですが、目標として財政調整基金の残高75億円を掲げていますが、達成に向けて柱となるような大きな取組があるのか、それとも積み上げていくのか、目標達成に向けて方向性を教えてください。</p> <p>2点目についてです、時間外の削減を目指しているとのことですが、財政調整基金を積み立てつつ、時間外勤務時間数を削減するとなると相当程度作業効率を上げなければならないと思います。根本的な改革が必要だと思うのですがそれに対する考えを教えてください。</p> <p>3点目ですが、人材マネジメントについて、「攻めの人材育成」という表現がありますが、具体的な内容について教えてください。</p>

発言者	要 旨
財務部長	<p>1点目ですが、財政調整基金の残高については積み上げて目標達成を目指します。例年、本市の一般会計の収支は概ね40億円程度の黒字であり、そのうちの半分の概ね20億円を財政調整基金に積み立てています。残りのこの補正財源を何とか毎年度10億円程度に抑え目標達成を目指します。</p>
総務部長	<p>2点目について総務部より回答します。DX等の推進を図ることにより市民の利便性が向上すれば、市役所の仕事もかなり削減できると考えています。これにより時間外勤務手当が大きく削減されますので、財政調整基金の積み立てにも寄与できると考えています。</p> <p>3点目についてです、「攻めの人材育成」という言葉については少し象徴的な言葉を使いました。基本的には、新しい価値を生むような人材を育成するという意味です。この人材育成により、効率化を進めつつ、サービスの質を下げない取組につなげていきたいと思っています。</p>
石原会長	<p>ありがとうございました。今出た意見もプランに反映をしていただければと思います。</p> <p>さて、行財政改革懇談会は今回で最後となります。皆様お忙しい中ご議論をいただきありがとうございました。</p> <p>事務局より今後の行財政改革プラン策定の流れについて説明をお願いします。</p>
事務局 (行政課課長補佐)	<p>今後の策定の流れについてですが、1月に議会に案を提出し、その後パブリックコメントを募集することを予定しています。その後、市長をトップとした行財政改革推進本部にて、プランを決定いたします。完成したプランについては、懇談会委員の皆様にお送りをさせていただく予定です。</p> <p>懇談会では、様々なご意見をいただきありがとうございました。</p>

発言者	要 旨
石原会長	<p>本日は意見書の提出という大きな役割を果たした会でしたが、これで懇談会を終了したいと思います。</p> <p>豊橋の活力向上と東三河地域の発展に寄与する素晴らしい行財政改革プランの策定を期待しております。</p> <p>ありがとうございました。</p>